【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【公開番号】特開2001-129197(P2001-129197A)
【公開日】平成13年5月15日(2001.5.15)
【出願番号】特願平11-318600
【国際特許分類第７版】
　Ａ６３Ｆ　7/02
【ＦＩ】
　Ａ６３Ｆ　7/02　３２４Ｃ
　Ａ６３Ｆ　7/02　３３９
　Ａ６３Ｆ　7/02　３５２Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成16年1月27日(2004.1.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
排出部材を動作させ遊技球を賞球または貸球として排出する球排出装置と、
排出目標数の排出を行うべく前記球排出装置を制御する排出制御装置と、
を備えた遊技機において、
前記排出制御装置は、
計数された実際の排出数と前記排出目標数とに不一致が生じた場合に、次回の排出における排出目標数をこの不一致分に基づいて増減補正する排出目標数補正手段を備え、
前記排出目標数補正手段は、
賞球排出または貸球排出の一方で排出目標数に対する不一致が生じた場合、次回の排出が賞球排出であるか貸球排出であるかにかかわらず排出目標数を補正することを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記球排出装置から排出された遊技球を流下させる遊技球流路を有し、
前記遊技球流路は、前記球排出装置から賞球として排出された遊技球を導入する賞球流路と貸球として排出された遊技球を導入する貸球流路とが分岐するように形成され、
前記賞球流路と貸球流路の分岐の始点に、賞球排出であるか貸球排出であるかにしたがって賞球流路または貸球流路の入口を選択的に閉止する流路切換部材を設けると共に、前記賞球流路と貸球流路にそれぞれ賞球検出センサと貸球検出センサを設けるものとし、
前記排出制御装置は、
前記排出目標数を設定するための払出カウンタを有し、該払出カウンタを前記賞球排出と前記貸球排出とで共通に用いるものとし、
前記賞球排出あるいは貸球排出をする場合に前記払出カウンタに前記排出目標数の設定を行い、前記賞球検出センサで賞球検出がなされた際あるいは前記貸球検出センサで貸球検出がなされた際、前記払出カウンタの値を減算し、
前記排出目標数補正手段は、
前記賞球排出あるいは貸球排出を行う場合に、前回の排出における不足数あるいは過剰数を加算した値を前記払出カウンタに設定することを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
【課題を解決するための手段】
第１の発明では、排出部材を動作させ遊技球を賞球または貸球として排出する球排出装置と、排出目標数の排出を行うべく前記球排出装置を制御する排出制御装置と、を備えた遊技機において、前記排出制御装置は、計数された実際の排出数と前記排出目標数とに不一致が生じた場合に、次回の排出における排出目標数をこの不一致分に基づいて増減補正する排出目標数補正手段を備え、前記排出目標数補正手段は、賞球排出または貸球排出の一方で排出目標数に対する不一致が生じた場合、次回の排出が賞球排出であるか貸球排出であるかにかかわらず排出目標数を補正する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
第２の発明では、前記球排出装置から排出された遊技球を流下させる遊技球流路を有し、前記遊技球流路は、前記球排出装置から賞球として排出された遊技球を導入する賞球流路と貸球として排出された遊技球を導入する貸球流路とが分岐するように形成され、前記賞球流路と貸球流路の分岐の始点に、賞球排出であるか貸球排出であるかにしたがって賞球流路または貸球流路の入口を選択的に閉止する流路切換部材を設けると共に、前記賞球流路と貸球流路にそれぞれ賞球検出センサと貸球検出センサを設けるものとし、前記排出制御装置は、前記排出目標数を設定するための払出カウンタを有し、該払出カウンタを前記賞球排出と前記貸球排出とで共通に用いるものとし、前記賞球排出あるいは貸球排出をする場合に前記払出カウンタに前記排出目標数の設定を行い、前記賞球検出センサで賞球検出がなされた際あるいは前記貸球検出センサで貸球検出がなされた際、前記払出カウンタの値を減算し、前記排出目標数補正手段は、前記賞球排出あるいは貸球排出を行う場合に、前回の排出における不足数あるいは過剰数を加算した値を前記払出カウンタに設定する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
【発明の作用および効果】
第１、第２の発明では、賞球排出、貸球排出は排出目標数に基づいてなされるが、排出数と排出目標数との不一致は、次回の排出における排出目標数を増減する補正により調整される。具体的に、今回の排出において検出された排出数が排出目標数よりも少なかった場合には、次回の排出における補正前の排出目標数にこの不足数を加えて、補正後の排出目標数とする。また、今回の排出において検出された排出数が排出目標数よりも多かった場合には、次回の排出における補正前の排出目標数からこの余剰数を差し引いて、補正後の排出目標数とする。そして、この排出数の調整は、通常の排出とは別の補正排出がなされることはないので、排出の時間および回数が増大してしまうことはなく、また排出は自然な形で行われ、遊技者にいたずらに不信感を抱かせてしまうこともない。また、排出目標数の補正は、賞球排出であるか貸球排出であるかにかかわらず、次回の排出においてなされるので、排出目標数に対する不足や余剰が生じてから最短のタイミングで排出数の調整を行い得る。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１３】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】削除
【補正の内容】